

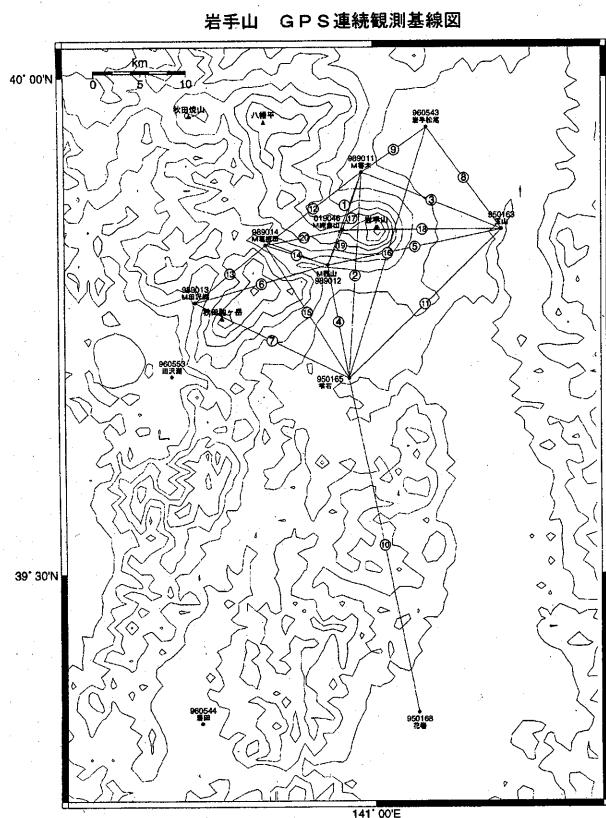
岩手山とその周辺地域の地殻変動*

Crustal deformations of Mt. Iwate and its surrounding area

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1-1図～第1-2図は、岩手山周辺のGPS連続観測（2波）による基線長（抜粋）の時系列である。岩手山周辺では、1998年の活動以後も継続していた変動は収まり、現在では、むしろ岩山西側葛根田付近を中心とした緩やかに収縮気味の傾向がみられ、それは2000年中ごろから始まったように見える。しかし量的には大きなものではない。

第2-1図～第2-2図は、噴気地帯に沿った西側の稜線に設置した反射器に対する下倉山からの自動辺長観測結果である。これまで、黒倉(R04)付近が下倉から遠ざかる変化が続いている。2000年末以降には、その傾向がやや鈍化したようにも見えたが、2001年以降も変化が継続している。近接個所に新しく設置したR11およびR12のうち、R11でも同様の動きが見られる。姥倉付近以西には動きがみられないで、姥倉、黒倉の間の噴気列に対応した開口性のクラックがあることを示唆しているのかもしれない。



第1-1図 岩手山周辺のGPS連続観測結果（1998年1月～2002年1月）

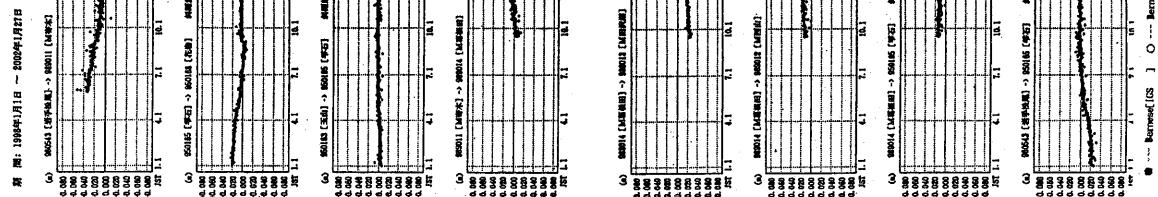
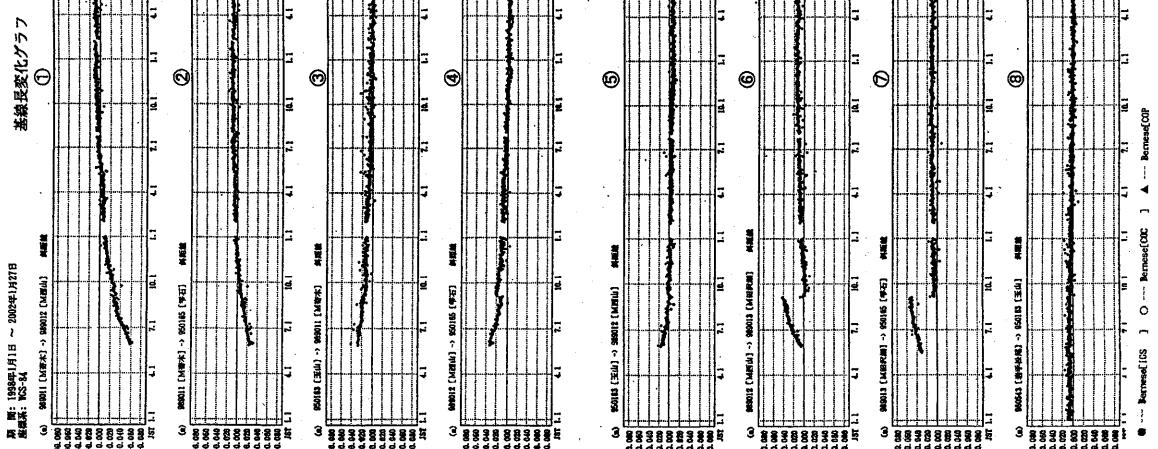
Fig.1-1 Results of Continuous GPS Measurements around Mt. Iwate during January 1998 to January 2002.

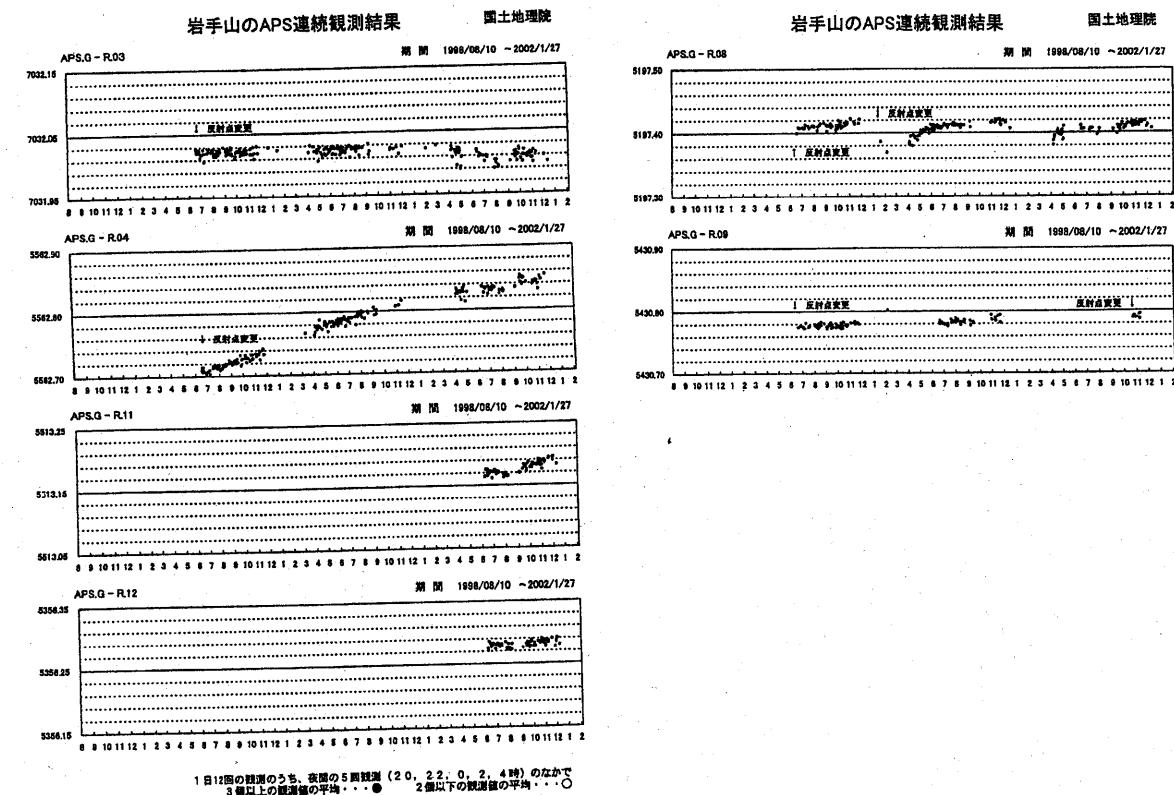
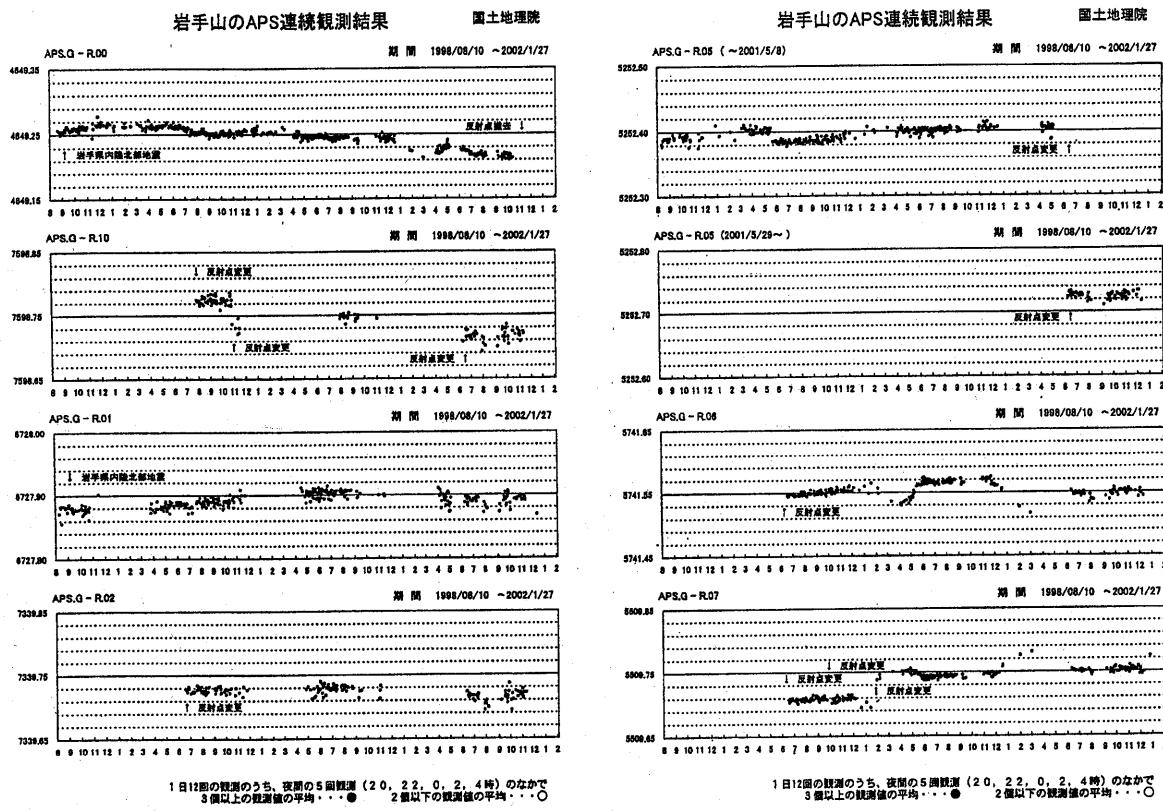


第2-1図 岩手山周辺自動辺長連続観測結果

Fig.2-1 Results of Continuous Measurements of Distances of a Baseline Cluster around Mt. Iwate.

*Received 8 Jul., 2002





第2-2図 岩手山周辺自動辺長連続観測結果

Fig.2-2 Results of Continuous Measurements of Distances of a Baseline Cluster around Mt. Iwate.